

## 「2015年韓国・延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学文学部1年 藤井絢

今回このスプリングスクールに参加して、私は外国語習得の重要性を改めて感じることとなりました。延世大学の語学堂での授業は自分の外国語習得方法について見直すきっかけとなり、より効果的な学習を行い語学を習得したいという意欲が増しました。

最初に私が感動したことは、韓国語教育システムの完成度の高さです。語学堂では、午前中に50分の授業が4回行われます。私は授業時間が少ないのではないかと不安になりましたが、実際に授業を受けてみるとその効率のよさに驚きました。1クラスは12人ほどの少人数で、授業はすべて韓国語で行われます。学生は先生の話す韓国語を聞きとり、先生の出す質問にも答えなければなりません。そのため最初は難しく感じますが、次第に韓国語を聞き取る能力だけでなく話す能力も身につけていきます。またテキストは会話文の形式で文法や語彙を学べるようになっており、学んだ文法がどのような状況下の会話で使えるものなのかが簡単に理解することができました。そのため実際に自分が会話をするときにも、教科書で学んだ表現がすぐ頭に浮かび、声に出すことができました。また午前中の授業の中で1時間だけ、特別に作られた読解用の教科書を使った授業が行われます。こうして聞き取り、会話、読解、筆記の4能力が一日でバランス良く鍛えられました。このような学習方法は、韓国語だけでなくすべての外国語学習において有効だと考えます。これからは韓国語のみならず様々な言語を、この方法を用いながら習得して行きたいと考えました。

また授業がない時間には積極的に市内を散策し、授業に出ているだけでは得られない知識を得ることができました。たとえば、人の呼び方について学ぶことができました。日本では、何か頼みたいことがあって見知らぬ人に声をかけるとき、「すみません」と呼びかけます。しかし韓国では、そのような呼び方はしません。それを身をもって知ったのは、私が一人で戦争記念館に行った時のことです。戦争記念館の前には巨大なオブジェがあり、そこで写真を撮る見学者が多数いました。私も写真を撮っていたのですが、その時年配の男性から「ハクセン」と呼びかけられました。ハクセンとは、日本語で学生という意味です。突然そのように呼びかけられて大変驚きましたが、オブジェをバックに自分の写真を撮ってほしいという頼みごとをされました。その時初めて、私ほどの年齢の人に呼びかけるときには、ハクセンと言うのだと知りました。このような韓国語の特徴を知り、私は驚いたと同時に、とても興味深いと感じました。

このプログラムで自分の韓国語能力を高められただけでなく、現地でしか体験できないことをたくさん行うことができました。今後はこの経験をもとに、より一層語学の勉強に力を入れていきたいです。

연세대학교 어학당에서 한국말을 공부했습니다.수업이 좀 어려운데, 열심히 공부 할 수 있었습니다.제 한국말 발음이 좋다고 친구가 이야기했으니까, 기뻐합니다.수업이 없을 때는 여러 가지 곳에 갔습니다.이대, 홍대, 수원, 판문점...재미있었습니다.

작년 여름에 경북대학교에 어학유학을 했을 때 만난 제 친구를 만날 수 있었습니다.

이제부터 또 어학공부를 힘내겠습니다.

감사합니다.